

1. 社会実験の内容について

(1) 目的

安芸太田町では、温井ダムについて観光資源としての重要性を再度位置付けるとともに、湖面利用の更なる推進を図ることによって、インフラへの理解度を高め、更なる地域活性を図ることとしている。

こうしたなかで、温井ダムや龍姫湖周辺が民間に開かれたスペースとなり、日常的に温井ダムエリアが利用され観光アクティビティ拠点として活性化していくことを目的として、民間事業者により日常的に商利用できる場かの可能性を調査する社会実験を実施した。

今回の社会実験の結果を踏まえ、実施で判明した課題を整理するなど、来年度以降の社会実験に活かし、近年での温井ダムエリア事業化に目処をつける。

(2) 概要

- 実施主体 安芸太田町（龍姫湖利用協議会）
- 実施エリア 龍姫湖
- 実施期間 令和4年9月21日（水）～11月30日（水）（71日間）
- 実施時間 8時～17時（準備・片付け含む）
- 実施事業者 (株) IRMANO、(一社) 地域商社あきおおた、らびっど kayak スクール、NUKUIDAMRESORT
- 実施内容 ウェイクサーフィン、スタンドアップパドルボート（以下 SUP）カヤック、手漕ぎボート

2. 結果

(1) 受入状況（対象団体報告資料より）

		ウェイクサーフィン	SUP	カヤック
利用人数	10月	14名	51名	8名
	11月	18名	54名	15名
	合計	32名	105名	23名

※手漕ぎボートは、運用上の問題から中止した。

(2) 視察等について

- ・ 8回（衆議院議員、広島県議会議員、広島県スポーツ推進課、広島県観光連盟等）

(3) プロモーション動画撮影について

- ・ 来年度に龍姫湖及び周辺エリアを PR する目的でプロモーション動画の撮影を実施。

(4) 安全管理について

① 進入ゲート

- ・ 監視カメラ 2 台、立入禁止看板 1 枚を設置

ゲートの開閉を速やかに行えるよう南京錠からダイヤルキーに変更した。また、監視カメラ、ダミーの監視カメラ、立ち入り禁止看板を設置した。

設置前は、ゲート横から進入する一般の方も見受けられたが、設置以降から進入する人は見かけなかった。

山県警察署による現地視察の際に、「立入禁止看板を設置していれば、侵入者がいた場合に通報すれば、検挙の対象となる」という意見をいただいた。



② ウェイクサーフィン関係の係留物（ボート、浮桟橋、カーゴ等）

大会等で事業者が不在とした場合以外は常時係留していたが、貯水池の変化などにも対応できなかったため、不測の事態は起きなかった。



③ ウェイクサーフィンと SUP、カヤックの同時利用

・ スタート&ゴールのタイミングと利用エリアを分けたことで、同時利用の際に大きな問題は起きなかった。

・ ウェイクサーフィンの波を楽しんでいる SUP、カヤックの利用者もおられた。

・ カヤック利用者の上陸時、ウェイクサーフィンが起こす波の影響により、艇の中に水が入り、濡れる事例があった。

次回ではウェイクサーフィンの運転を湖面上で停止する等対応を検討する。

(5) 利用者からの声 (抜粋)

- ・子供たちが楽しかったようで、写真を見ながらまた行きたいと言っています。
- ・日常のストレスから解放される良い一日を過ごさせてくれるガイド、ロケーションが最高。お客さんが増えて予約が取れなくなるのは困るけど、オススメです。冬の雪景色も見てみたいです。
- ・子供2人の4人で参加しました。紅葉はまだ色の変り始めでしたが、風もほとんどなく暖かい日差しの中でとても素晴らしい時間でした。わかりやすく面白く説明してくださり、途中で道路に上がれるところで冒険！と草花や虫を見せてくれたりで最後まで楽しく過ごせました。また今度は子供が各々で漕げるようになってから体験したいです！
- ・夫婦で体験しました。穏やかな湖で最高の美しい景色。何か所か滝も見られて、ダム奥まで行くと地形や岩が変わってきて冒険感が増えてワクワクしました。スタッフの方はとても親切でこの湖の伝説やダム建設で沈んだ村の話など、ガイドも楽しかったです。体験中の写真まで沢山撮っていただき、約2時間で5千円とは安過ぎるアクティビティ。

(6) 社会実験の様子



3. 実験結果まとめ（評価と課題）

（1）評価

- ・懸念されていた、油漏れ等はなく、問題なく運用することができた。
- ・龍姫湖を利用した方の満足度は非常に高いことが分かった。
- ・国内外から集客できるポテンシャルを感じた。
- ・ウェイクサーフィンの水面としても、国内・海外を含めトップクラスの環境であることが利用者の意見から分かった。
- ・ウェイクサーフィンの競技大会としてのコース取りも申し分がないなど、グレンデコンディションの評価も高いことが分かった。
- ・景観が素晴らしく、四季を感じるができる環境であることが認識された。

（2）課題

○ハード面・インフラ整備

- ・受付場所が、温井ダムリゾートの駐車場など屋外であり、お客様がわかりにくい。
(屋内受付場所（温井ダムリゾート、温井スプリングス、艇庫）を確保することで、セットプランの販売も促進でき、幅広いお客様に目が届く。)
- ・進入路に看板がないため、アピール度が低い。(進入路がわかりにくい)
- ・常設のトイレや更衣室等がない。
- ・自家用車以外の移動手段がない。(温井ダムリゾートからのアクセス道を再整備し、同事業者の所有する電動カートや電動自転車で移動できるようになればよい。公共交通機関を利用してこられた方も利用しやすい。)
- ・今後、龍姫湖を日常的に運用できる環境とする場合、現在の艇を運搬できる専用の車両が必要である。

○ソフト面・コンテンツ面

- ・湖面近くでお客様がくつろげるエリアが必要。
- ・冬季での利用も見込みがあり、四季を通じ集客できる可能性があるため、テントサウナや、ストーブ利用等できると利用の幅が広がる。
- ・軽食、キッチンカー等の出店があるとよい。
- ・各団体と協力して、HP や SNS で情報発信できる仕組みの形成が必要。